

Ⅱ 発泡酒製造業

(1) 製造業者数

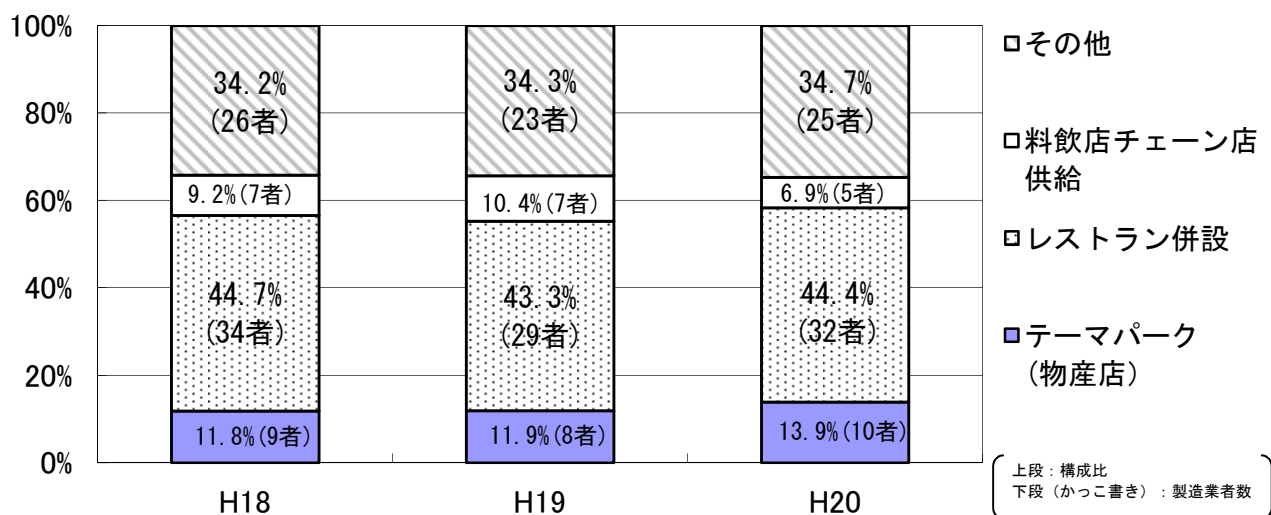
平成20事業年度の調査対象者数は96者、回答者数は72者（75.0%）であり、このうち69者（95.8%）が中小企業者（※1）である。

販売形態別ではレストラン併設形態が32者（44.4%）と最も多く（図表11）、専業割合別では専業割合（※2）10%未満の者が54者（75.0%）であり（図表12）、製成数量規模別では10klに満たない者が49者（68.1%）となっている（図表13）。

（※1）資本金3億円以下の法人並びに従業員300人以下の法人及び個人をいう（中小企業基本法第二条第一項第一号）。

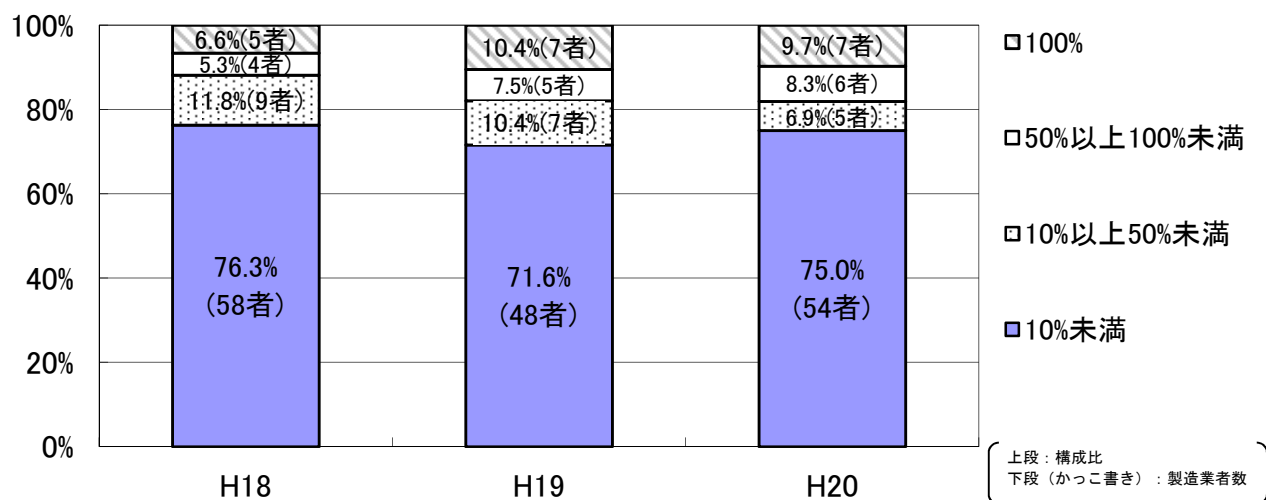
（※2）総売上高に占める発泡酒の売上高の比率である。

図表11 販売形態別構成比

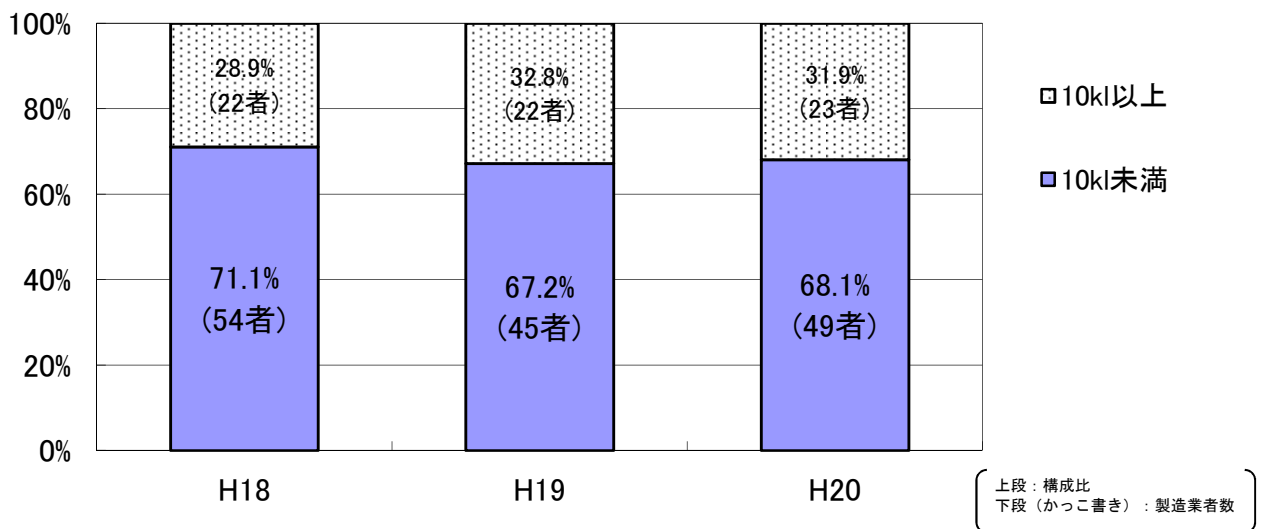


（注）その他の販売形態には、主なものとして酒類卸売業者に販売している者が含まれる。

図表12 専業割合別構成比



図表13 製成数量規模別構成比



(2) 経営状況

平成20事業年度の発泡酒事業の売上高の合計額は、773百万円（1企業当たり10.7百万円）であり、平成19事業年度の698百万円（1企業当たり10.4百万円）に比べ、1企業当たりの売上高が約30万円（2.9%）増加している。

営業利益（損失）の合計額は52百万円（1企業当たり70万円）であり、平成19事業年度と比較して1企業当たりの営業利益が約40万円（36.4%）減少している（図表4）。

図表14 経営状況

（単位：百万円）

区 分	企 業 数	売 上 高	売上総利益	営業利益
H18	76	(8.5) 646	(2.6) 199	(△0.6) △48
H19	67	(10.4) 698	(5.1) 340	(1.1) 76
H20	72	(10.7) 773	(4.5) 321	(0.7) 52

（注）1 発泡酒製造業に係る計数のみ掲げている。

2 かっこ書は1企業平均値である。

販売形態別の1企業当たりの経営状況は、平成19事業年度と比較して、テーマパーク形態では営業利益が減少し、レストラン併設形態では営業利益が赤字に転じている。また、料飲店チェーン店供給形態及び主に酒類販売業者に卸売を行っている者を含むその他の形態では営業損失が減少している(図表15)。

図表15 1企業当たり販売形態別経営状況

(単位:百万円)

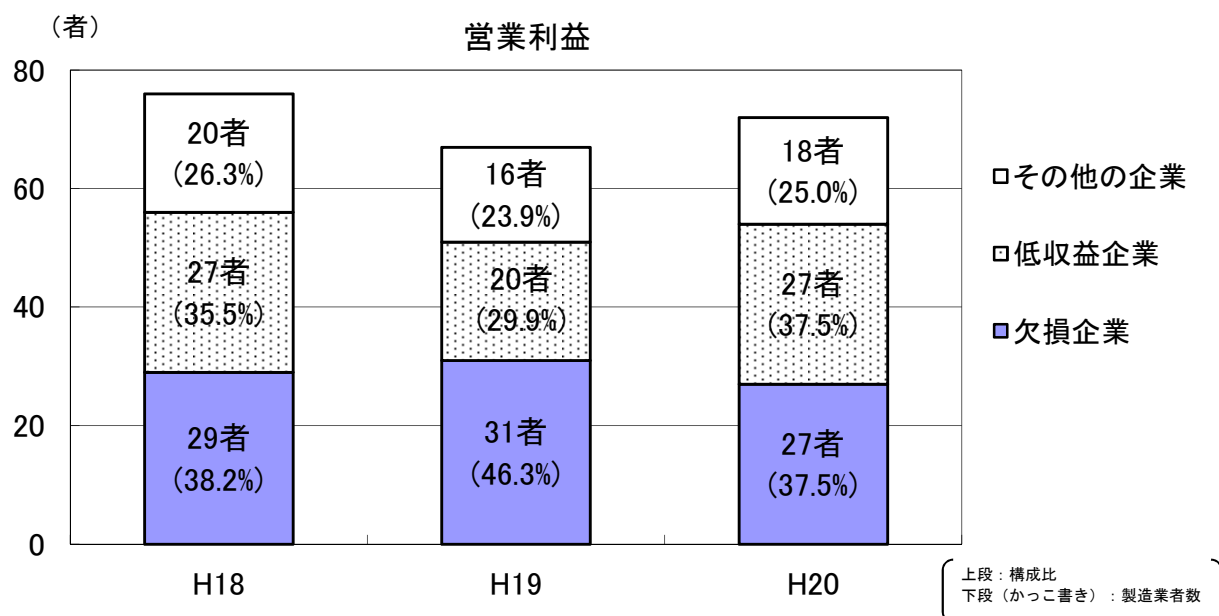
区 分	テーマパーク (物産店)					レストラン併設				
	H18	H19		H20		H18	H19		H20	
			対前年比		対前年比			対前年比		対前年比
売 上 高	7.9	18.6	235.4%	12.4	66.7%	4.6	5.9	128.3%	8.2	139.0%
売上総利益	4.1	14.0	341.5%	9.3	66.4%	1.6	2.7	168.8%	3.5	129.6%
営 業 利 益	2.8	12.5	446.4%	7.7	61.6%	△ 0.2	0.3	—	△ 0.1	—
区 分	料飲店チェーン店供給					その他				
	H18	H19		H20		H18	H19		H20	
			対前年比		対前年比			対前年比		対前年比
売 上 高	16.2	9.3	57.4%	13.0	139.8%	11.7	13.6	116.2%	12.9	94.9%
売上総利益	3.6	4.1	113.9%	5.7	139.0%	3.1	5.2	167.7%	3.5	67.3%
営 業 利 益	△ 1.4	△ 0.8	—	△ 0.2	—	△ 2.2	△ 1.2	—	△ 0.9	—

(注)1 発泡酒製造業に係る計数のみ掲げている。

2 その他の販売形態には、主なものとして酒類卸売業者に販売している者が含まれる。

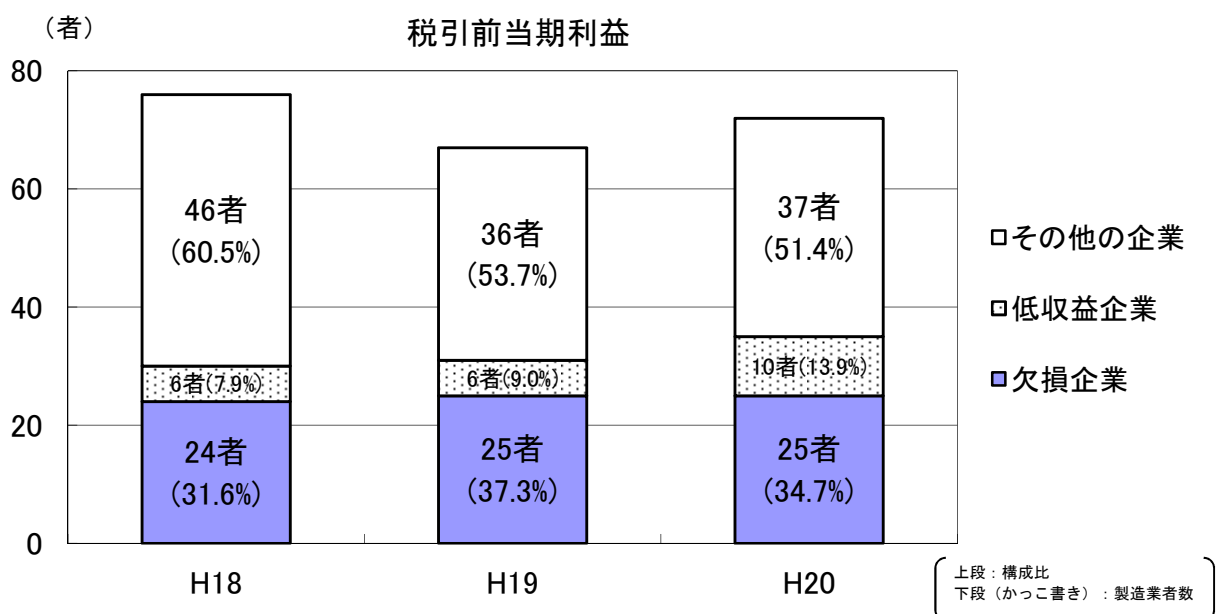
発泡酒事業の営業利益でみると、平成19事業年度と比較して、欠損企業の企業数が減少しているものの、低収益企業（営業利益額50万円未満）を含めると、引き続き、全体の75%を占めている（図表16）。

図表16 発泡酒事業の営業利益等の状況



企業全体の税引前利益（発泡酒事業を含む。）からみた場合には、平成19事業年度と比較して、欠損企業の企業数は変わらなかったが、低収益企業（税引前利益額50万円未満）の企業数は増加している（図表17）。

図表17 企業全体の税引前利益等の状況



（注）1 その他の事業部門を含めた事業全体に係る計数である。

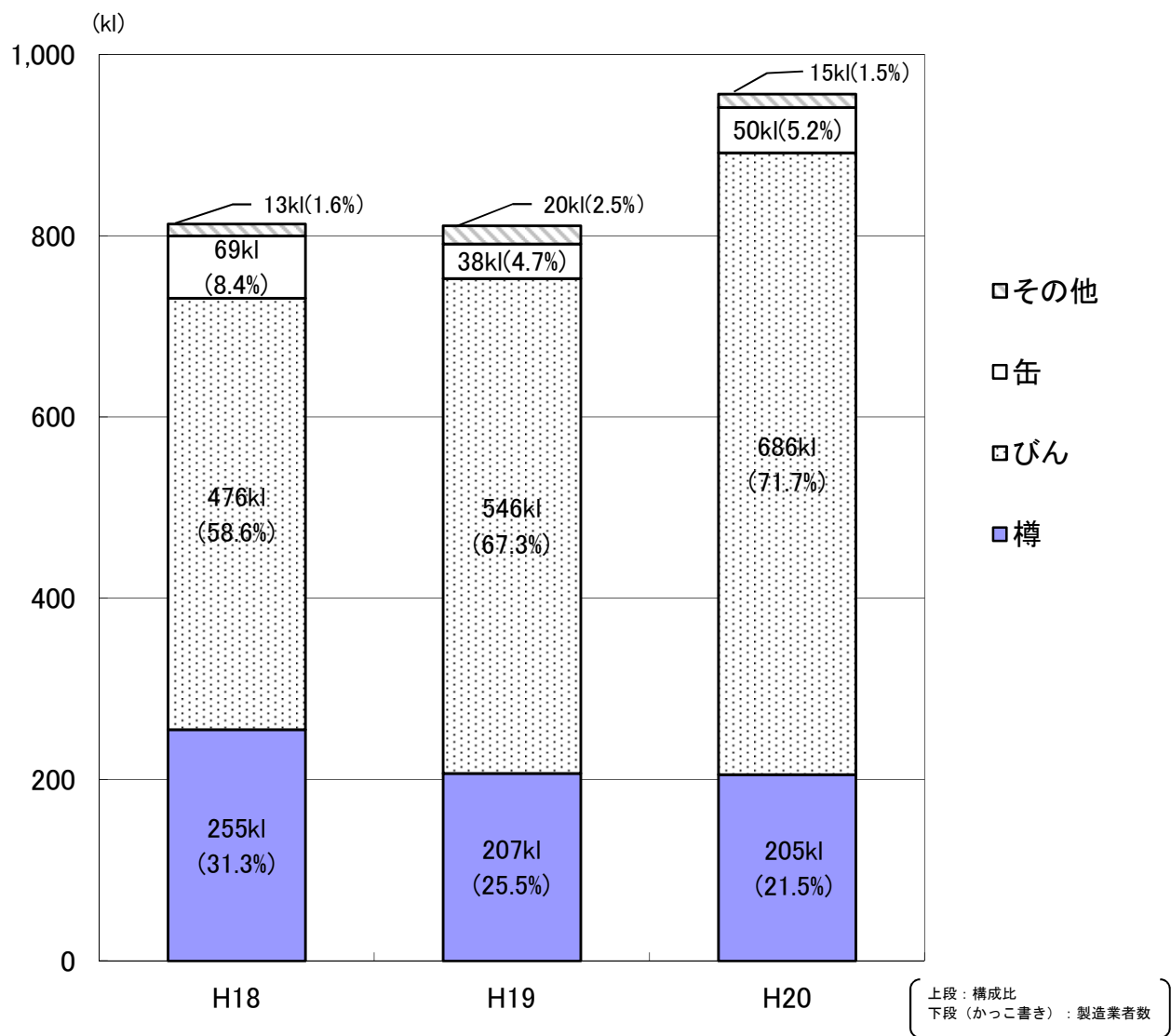
2 低収益企業とは、税引前利益額が0円から50万円未満の企業をいう。

(3) 容器別販売状況

平成19事業年度と比較して、びんの割合が増加し、全体の約72%と最も多い割合を占めている。

また、樽とびんの合計が全体の約93%を占めている(図表18)。

図表18 容器別販売数量

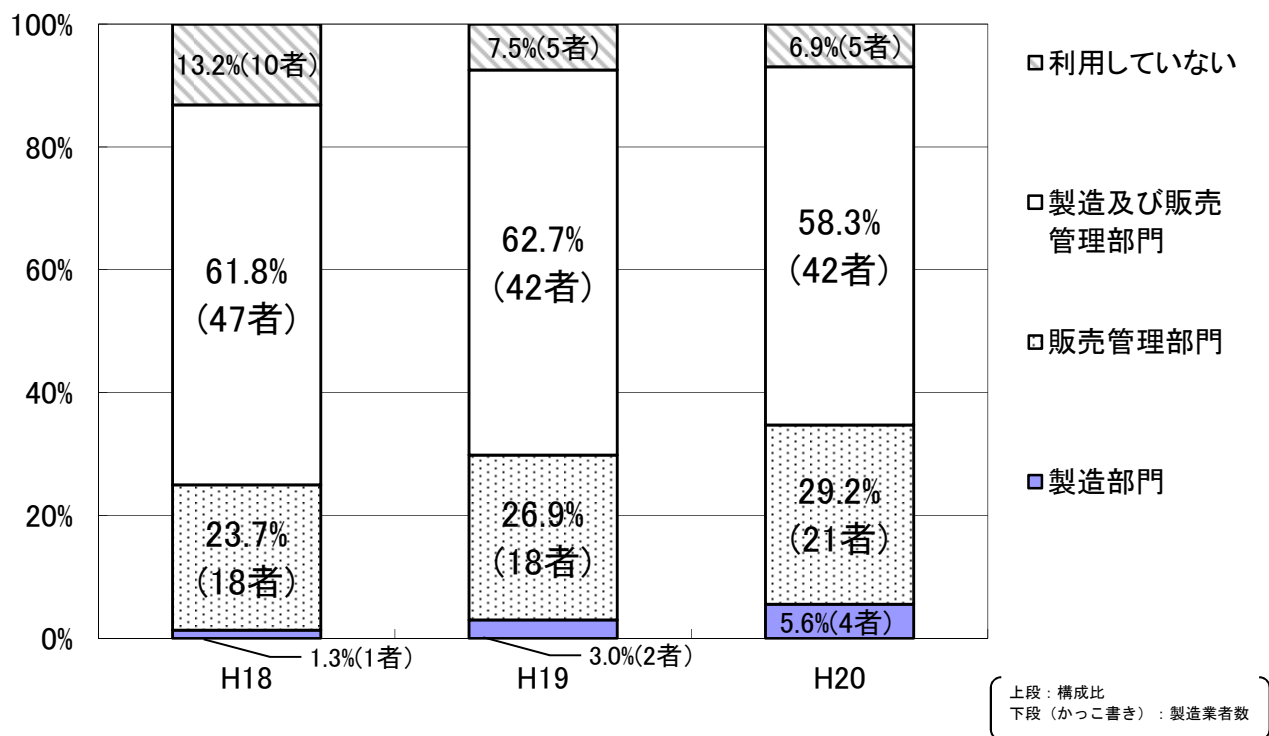


(4) 情報化の状況

コンピューターの利用状況は、製造及び販売管理部門で利用している者が最も多く、58.3%である(図表19)。

ホームページは、94.4%の者が開設している(図表20)。

図表19 コンピューターの利用状況



図表20 ホームページ開設の有無

